



**メルマガ・ステップメール配信ソフト
MILKY STEP Professional 操作マニュアル
(取り扱い説明書)**

【初期設定編】

Version 2.26

目 次

第1章 改定履歴	3
第2章 免責事項	10
1. ソフトウェアの著作権	10
2. ソフトウェアの改変等	10
3. ソフトウェアを使用したことによる損害、保証等	10
4. 使用の中止について	10
5. 使用禁止	10
6. 購入代理及び販売代理	10
7. ソフトウェアの複数使用	11
8. ソフトウェア別の免責事項	11
9. ダウンロードのパスワード	11
10. 有効期限	11
11. 免責事項について	11
12. 違約金	11
13. 免責事項の変更	12
第3章 本書の概要	13
1. 対象ソフトウェア	13
2. 対象ソフトウェアの使用目的	13
3. 無償版について	13
4. 差し込み画像について	13
5. ヘルプ機能について	13
6. 本書の取り扱い	13
7. 購入後のサポート	13
第4章 ソフトウェアの動作環境	15
1. 必要動作環境	15
2. 推奨動作環境	15
第5章 初期設定	17
1. ソフトウェアのダウンロード	17
a. MilkyStep Light（無償）を初めて使用する場合	17
b. すでに MilkyStep Light（無償）を設置済みで、Professional（有償）へ移行する 場合	17
c. Milkystep Light（無償）を設置しておらず、Professional（有償）を初めて使用する 場合	17
2. インストールの準備	19
3. システムのインストール	26
4. システムの再インストール	35
第6章 CRON の設定	37
1. CRON の設定方法	37
2. CRON 設定時にファイル名を直接指定しなければならない場合	41
3. CRON が利用できない場合の代替法	44
4. 起動ログの確認	45

第1章 改定履歴

2010/03/25 Version1.00

- 一般公開開始

:

2015/02/12 Version 1.81

- PC 向け HTML メール形式の配信に開封率測定機能を追加
- 上記に伴い記事作成時の共通タグに同タグを追加
- フォームの固定項目に「受信端末」の項目を追加
- 上記に伴い検索条件指定に同条件を追加
- 上記に伴い記事作成時の共通タグに同タグを追加
- HTML 形式での記事作成時、本文に記載した URL 末尾に半角スペースなどがあった場合にクリック測定後のリダイレクトに失敗する場合がある現象を改良
- フォーム表示用プログラムに空メール送信用ページ画面の出力を追加
- 上記に伴い、空メール用リンク取得メニューに空メール送信ページ（登録/解除）の QR コードを追加
- 上記に伴い、デフォルト表示設定メニューに空メール送信ページ（登録/解除）のアクションを追加
- ストーリー保存時に一部の共通タグが変換後の値で保存されてしまう場合がある不具合を修正
- すでに配信停止/エラー停止状態の読者をブラックリスト機能が無効にして一括インポートした際に、不達情報がリセットされない場合がある不具合を修正
- 左カラムのメルマガ並び替えにおいて一部の条件の時「古い順」「新しい順」で正常にソートされない場合がある不具合を修正
- 配信履歴の全削除を行う際一部の条件の時に SQL エラーが発生する場合がある不具合を修正

2015/03/18 Version 1.82

- 記事本文およびヘッダ/フッタの個別設定、本文テンプレート、既定のヘッダ/フッタ保存時の文字制限チェックを強化
- 読者検索時の範囲指定型検索の条件を「以上～未満」から「以上～以下」に変更
- 読者登録/読者情報変更フォームにおいてフォームの URI にパラメタを付与することで、入力項目の選択無しに固定情報を登録できるよう改良
- その他既知のバグ、UI の修正

2015/05/11 Version 1.83

- システム情報の編集において SMTP サーバを指定した際にも配信テストを行うことができるよう改良
- [脆弱性対応:JVN05559185]OS コマンドインジェクション対策を実施
- [脆弱性対応:JVN12241436]CSRF 対策を実施
- [脆弱性対応:JVN16409640]アクセス制限不備に関する対策を実施
- [脆弱性対応:JVN19732015]一般ユーザの権限昇格可能性に関する対策を実施
- [脆弱性対応:JVN20879350]標準出力時などの XSS 対策を実施
- [脆弱性対応:JVN52478686]SQL インジェクション対策を実施
- [脆弱性対応:JVN74280258]システムの再インストール時の仕様および手順を変更
- その他既知のバグ/UI の修正

2015/12/16 Version 1.84

- テキスト/パスワード/テキストエリア型の読者データにカンマが含まれていた際に、CSV エクスポート時セルが崩れる場合がある不具合を修正
- ストーリー別履歴詳細画面においてクリック累計が0の時ソフトウェアエラーが発生する場合がある不具合を修正
- HTML 形式でのメール配信時、一部の条件の時に正常にクリック測定が行われない場合がある不具合を修正

- PC 向け HTML 形式での下書き保存時「開封率を測定する」のチェックが反映されずに下書き保存される場合がある不具合を修正
- 基本設定の編集において、読者が自主登録した際または配信解除した際に、管理者にメールで報告する設定になっているにも関わらず、一部の条件の時に報告メールが配信されない場合がある不具合を修正
- 期間限定ページ設定において、UTF8以外の文字コードを利用した外部ページを指定した際に、一部の条件の時に文字化けが発生する場合がある不具合を修正
- ワイルドカード SSL サーバ証明書による SSL 通信に対応（OEM 版）
- 各メルマガ/ステップメールの「送信設定」および共通設定の「SMTP 設定」において、Envelope-From を送信元アドレスに強制的に指定できるよう修正（OEM 版）

2016/03/07 Version 1.85

- 共通設定において直近90日までのログイン履歴閲覧機能を追加
- メルマガ/ステップメール新規作成時に、既存 ID の設定をコピーして新規作成する機能を追加
- クリック測定用 URL のクリックカウントの仕様を、読者によるユニークカウントとなるよう修正
- 特典データの DB 構造および特典ダウンロードページの UI を一部改良
- ステップメールと自動メルマガの配信履歴一覧において、ストーリーまたは号外記事の履歴のみを絞り込みできるよう改良
- 一部のデフォルト表示画面のデフォルト HTML ソースを修正
- 一部の条件の時、1クリック解除の確認画面の OK ボタンを押下した際に、SSL の警告画面が表示されてしまう場合がある不具合を修正（OEM 版）
- SSL 通信が行われる一部のデフォルト表示画面において初期状態で GlobalSign 社の SSL シールを設置（OEM 版）
- 一部の実行ファイルにおいて SQL インジェクション対策を実施
- デフォルト表示画面において、一部の条件の時に内部読み込みファイルのフルパスが正常に取得できない場合がある不具合を修正
- ストーリー別履歴詳細画面においてクリック累計が0の時「Illegal division by zero」のソフトウェアエラーが発生する場合がある不具合を修正

2016/4/5 Version 1.86

- [脆弱性対応:JPCERT#58345231]SQL インジェクション対策を実施
- 1クリック再登録処理時、一部のパラメタが正常に処理されない場合がある不具合を修正
- ステップメール/自動メルマガの配信履歴一覧において配信タイプの絞り込みが正常に行われない場合がある不具合を修正
- 一部のデフォルト表示画面にタグの表記がそのまま出力されてしまう場合がある不具合を修正

2016/8/2 Version 1.87

- 各メルマガ、ステップメールで宛先（ヘッダ To）の敬称を指定できるよう改良
- 配信履歴一覧の表示処理を一部改良
- 自主登録時の同時登録機能を有効にした際、初期状態で登録/解除フォームや確認画面で同時登録されるメルマガ情報が自動表示されるよう修正
- 読者検索、フィルタ指定の条件に読者 ID の項目を追加
- 空メール処理エラー時に自動返信される一部のメールの内容編集ができるよう改良
- 一部の条件の時ストーリー編集時に件名の共通タグが置換された状態で保存されてしまう場合がある不具合を修正
- 一部の条件の時、個別メール分で生成したクリック測定 URL のパラメタエラーが発生してしまう場合がある不具合を修正
- SMTP 設定において、保存時の送信テストが行えない場合がある不具合を修正
- 共通 DB の冗長化構成に対応（OEM 版）

2016/12/07 Version 2.01

- ステップメール、自動メルマガのストーリーがすべてのメルマガジンの配下で管理できるよう

記事の管理構成を変更

- 上記に伴い自動メルマガの呼称をループメールに変更
- 上記に伴いユーザの権限設定の仕様を一部変更
- 上記に伴いバックナンバー設定においてバックナンバーに表示する記事の種類を選択できるよう修正
- 配信フィルタに「次回ステップストーリーNo（次 SS）」の条件を新規追加
- 共通タグ一覧に備考情報用のタグを追加
- 一部の条件の時に記事編集時の自由項目タグパレットが表示されない場合がある不具合を修正
- 名前などに一部の特殊文字を含む読者が存在した場合、ステップメールの読者自動移行が正常に行われない場合がある不具合を修正
- バックナンバーページにおいて一部の共通タグの情報が正常に表示されない場合がある不具合を修正
- 配信履歴一覧において、クリック数および CTR が正常に表示/ソートされない場合がある不具合を修正
- 重複操作、二重操作防止のためのセッション管理を強化
- その他既知のバグや UI の修正

2017/04/05 Version 2.02

- 配信エラー時にも配信履歴詳細画面から配信再開ができるよう改良（バージョンアップ後の配信から有効）
- 読者の一括インポート/削除メニューにおいて「一括ブラックリスト登録」の機能を追加
- 一部の条件の時、読者一覧画面から「対象にメール配信」を実行した際に正常に号外記事が保存されない場合がある不具合
- 一部の条件の時、HTML エディタ（β 版）利用中にフォーカスされていないエリアへタグの挿入が行われてしまう場合がある不具合を修正
- 一部の条件の時、空メール登録/解除の自動返信メールが正常に送信されない場合がある不具合を修正
- 号外記事の下書き保存時に一部の環境依存文字チェックが行われない不具合を修正

2017/06/05 Version 2.03

- 自由項目の一部の入力形式において選択肢の表示順変更機能を追加
- 一部の配信の配信開始前に一部のテーブルの状態チェックおよび自動修復を行うよう改良
- 一部の配信の配信完了後にオーバーヘッドの出やすい一部のテーブルが最適化されるよう改良
- 配信前の配信予定読者テーブルへのデータセット時に SQL の max_allowed_packet 値をチェックするよう改良
- 上記に伴い配信ログの記録方法を一部変更
- 読者検索および配信フィルタの一部の条件（郵便番号/市町村以下/電話番号/年齢/読者 ID）に「未設定」の選択肢を追加
- フォーム設定において一部の条件の時自由項目の選択肢の削除が行えない場合がある不具合を修正
- 自主登録時の初回ストーリー即時配信時にテーブルロックなどで配信失敗した際に、次の配信チェック時にカバー配信されるよう改良

2017/08/07 Version 2.04

- 本文中にピリオドのみが記載された行があった場合に以降の文字列が正常にメール送信されない場合がある不具合を修正
- 本文テンプレートや既定のヘッダ編集画面において、共通タグパレット内に一部の共通タグが表示されない不具合を修正
- 読者情報テーブルの一部カラムの NULL 値を不許可に設定
- 履歴データの自動削除処理において、履歴1件ずつに対して削除処理を行うよう修正
- Google Chrome Ver57以降使用時において、デフォルト表示設定の一部の編集画面のプレビューがブロックされる問題を修正
- 同一履歴かつ同一宛先のエラーメールがあった場合に重複で処理されないようエラーメールの処

理を改良

- 上記に伴いエラーメール処理時のログ内容を一部修正
- ユーザのログイン ID を変更した際にセッション情報に反映されない場合がある不具合を修正
- 共通データベースチェックおよびそれに伴う配信停止処理の範囲を修正（OEM 版）
- 上記に伴い読者を「エラー停止」状態から「配信可能」状態にステータス変更した読者の不達情報リセットを行わなかった場合でも無条件に直後の1回は配信が行われるよう修正（OEM 版）
- 一部の条件の時に、既存のテキスト型/パスワード型/テキストエリア型/日付型の自由項目の設定保存を行った際（「設定を保存」ボタンをクリックした際）、読者の自由項目情報に不整合が生じる場合がある不具合を修正
- 自由項目の入力形式を変更した際にも旧形式の項目データおよび旧形式の読者自由項目データが残るよう改良
- 読者検索および配信フィルタの一部の条件（テキスト型/パスワード型/テキストエリア型/日付型の自由項目）に「未設定」の選択肢を追加
- 読者検索および配信フィルタ機能において、1つの項目配下の選択肢複数指定時はすべて OR 条件検索に統一

2017/10/03 Version 2.05

- 共通設定に読者横断検索の機能を追加
- 理論上の重複配信や未配信トラブル等防止のため履歴番号の生成/管理方法を一部改良
- 一部のデータに最終更新日情報を追加（バージョンアップ後の更新から有効）

2018/02/01 Version 2.06

- ステップメールの、フィルタ条件に合致する読者がいない場合のストーリー処理時に「配信準備中」の状態履歴に蓄積されてしまう場合がある不具合を修正
- バックナンバーにステップメール記事の限定表示機能・ループメール記事の限定表示機能を追加
- ステップメール、ループメールの重複配信防止機能を一部強化
- ダブルオプトイン有効時の登録/解除フォームおよび読者情報変更フォームでの処理完了後、再読込により連続処理がされないよう改良
- 「読者登録/削除/編集」権限を持たないユーザが、読者一覧画面から「対象にメールを配信」を行った際に実行される権限チェック処理を修正

2018/03/15 Version 2.07

- メルマガ配信前の確認画面の際に、画面サイズ別のプレビューを確認できる機能を追加
- HTML メールの開封率測定を有効にした際に、受信メールの一部に隙間が空く原因を修正
- フォームの固定項目名及び、その選択肢を変更できるように改良
- デフォルト表示設定において、各設定画面のボタン部分の HTML ソースを変更できるように改良
- フォーム関連のエラーメッセージを変更できるように改良
- ステップメールのストーリー編集時に、「配信の保留」機能を追加
- 上記に伴い、読者情報にステップメールの「起算日」の概念を導入し、「起算日」と「次 SSNo」からストーリー配信の可否を判定するよう改良
- 上記に伴い、読者自動移行時の「初回ストーリーから再度配信」時には「登録日」は変更せず「起算日」のみ変更されるよう修正
- 読者検索および配信フィルタの条件に開封数の条件を追加
- アップロード済み画像パレットの画像表示順が画像設定の表示順と同じになるよう修正
- 同一時間帯に配信が集中した際の、配信エラー防止対策を強化

2018/06/14 Version 2.08

- 記事作成時のメール形式に「汎用 HTML (自動判別)」のモードを追加
- 上記に伴い「フューチャーフォン向け HTML」「フューチャーフォン向け HTML」形式を選択した際にも、言語に「多言語 (UTF-8)」が選択できるよう改良
- 「フューチャーフォン向け HTML」「スマートフォン向け HTML」形式、および「汎用 HTML (自動判別)」形式を選択した際の携帯 (i. softbank. jp 以外) 向けのメールコンテンツにおいて、イ

インターネット参照された画像を判別し添付型に自動変換されるよう改良

(jpg, jpeg, gif, png, bmp でかつ外部から直接参照可能な画像のみ)

- 上記に伴い確認画面で表示されるメールサイズの計算方法を修正
- アップロード画像パレットから挿入できる、SWF ファイル以外のアップロード画像タグ形式を変更し、スタイル属性などを編集できるよう修正
- 配信フィルタの条件「登録日」に「今日/明日/今週/来週/今月/来月」「○日後」の選択肢を追加 (OR 検索)
- 読者情報詳細画面から、この読者が開封した履歴の一覧を参照できるよう改良
- 配信履歴詳細画面の不達読者一覧からエラー時の当該メールログ部分を確認できるよう改良 (OEM 版)
- 読者の CSV 一括エクスポート時に UTF-8形式 (BOM 付き) で出力できるよう改良
- フォーム利用時における項目未設定時の処理を一部改良
- 一部の条件の時、配信停止状態の読者が再度自主登録を行った際に次 SS ナンバーが1に戻らない場合がある不具合を修正
- 一部の条件の時、1クリック再講読を行った際に読者情報の一部の値にスラッシュ (/) が挿入されてしまう場合がある不具合を修正
- 「読者リストの編集」メニューがらの読者新規登録時にブラックリスト機能が正常に動作しない場合がある不具合を修正

2018/09/03 Version 2.09

- デフォルトのメール送信設定の送信間隔を60秒に変更
- フォーム設定メニューで、フォームの直接表示 URL/iframe ソースに HTTPS バージョンも取得できるよう改良
- メルマガ配信にファイルの添付機能を追加
- 添付ファイルのアップロード機能の追加

2019/02/13 Version 2.10

- 直接表示フォームアクセス時に http 通信の場合はデバイスを判別して https 通信にリダイレクトするよう改良
- 画像のアップロード方式を改良

2019/04/02 Version 2.11

- ループメールのストーリー削除を行った際に、ソート順が変わる不具合を修正
- 空メール登録用メールアドレスを読者登録されると、記事が配信されるたびに配信元メールアドレスでの読者登録が行われてしまう不具合を修正

2019/10/15 Version 2.12

- 不達情報の種類に「受信ブロックの可能性」を追加
- 自動マルチパート機能における、ハイパーリンク変換時に重複する URL を削除する機能を追加
- テキストパート表示時、一部の環境で URL が繋がって表示されてしまう問題を修正

2019/12/11 Version 2.13

- 文字化けした添付ファイルが削除できない場合がある不具合を修正
- 号外記事の下書き保存を行った際に添付ファイル情報が保存されない場合がある不具合を修正
- 添付ファイル操作時の UI 改良
- 記事作成時、戻るボタンで戻った際に添付ファイル情報がリセットされる現象を修正
- 作成者署名メールアドレスを削除確認画面のパンくずリストの修正
- 読者エクスポート時のタイムアウト対策を実施
- お知らせ画面での feed 取得方法を改善

2020/03/24 Version 2.14

- 一部の環境で添付ファイルが表示できない場合がある不具合を修正
- 配信フィルタ設定時、設定値からスペースが削除される不具合を修正
- 一部の環境で長文の HTML メールが正しく表示されない場合がある不具合を修正
- コントロールパネルのデザインを一部変更
- 読者一括インポート/削除の処理を一部改善

2020/06/09 Version 2.15

- 記事編集時、アップロード済み画像パレットから新しい画像を直接アップロードできるよう改良
- 上記に伴い jQuery を jQuery-1.7 にアップデート
- アップロード済み画像パレットから挿入した画像の初期幅を100%に変更
- HTML エディタ (β 版) の「構成要素の表示」をデフォルトで OFF に変更
- 予約配信/ストーリー一覧に添付ファイル情報を追加
- 読者の一括インポート/削除画面の UI を改良
- コントロールパネル内の各日付指定フォームにカレンダー (DatePicker) 機能を追加
- 読者の検索/絞り込み条件が一括クリアできるよう修正
- 自動 IP ウォームアップ機能 (β 版) を追加

2020/09/01 Version 2.16

- 固定項目の表示/非表示設定の追加
- フォームのレスポンス対応
- ワンタイムパスワードによる2段階認証機能の追加
- 号外記事の配信確認画面に現在の送信制限の表示を追加
- 外部 SMTP サーバーを使用した配信時に、一部の条件で受信したメールが閲覧できない問題を修正
- ステップメール、ループメールのストーリーロックが一部の条件で解除されない問題を修正
- 一部の条件で添付ファイルの解除が行えない問題を修正
- データベース再構築処理の改善

2020/10/12 Version 2.17

- 配信履歴ごとの、不達読者 CSV 出力機能の追加
- 一部 UI の改善
- その他、既知の不具合の修正など

2021/01/14 Version 2.18

- タグ変換機能の改善
- メールの内容確認時の表示改善
- 基本設定の編集画面の UI 改善
- クリック測定 URL 変換時、一部の条件で意図しない URL が変換される問題を修正
- 一部の条件で、登録フォーム表示時にエラーが表示される問題を修正
- 一部の条件で、全送を待たずに配信が完了する不具合の修正
- 一部の条件で、読者の CSV 一括インポートが進まなくなる問題の修正
- その他、既知の不具合の修正など

2021/09/01 Version 2.19

- HTML エディタ v2実装 (β 版)
- オプトインメールで名前のタグ変換が機能しない問題を修正
- 一部の条件で号外予約画面遷移時に接続がタイムアウトする問題を修正
- その他、既知の不具合の修正など

2021/11/17 Version 2.20

- HTML エディタ v2 (β 版) の表示改善
- メール本文の CSS がバックナンバーページの表示に干渉する問題を修正
- デフォルト表示設定のリアルタイムプレビューの更新速度改善
- その他、既知の不具合の修正など

2022/5/10 Version 2.21

- HTML エディタ v2 (β 版) の表示改善
- HTML エディタ v2 (β 版) の不具合修正
- MacOS で Zip 圧縮したファイルがアップロードできない問題を修正
- その他、既知の不具合の修正など

2022/11/11 Version 2.22

- HTML エディタ v2 (β 版) 利用時のストーリー下書き機能の追加
- 一部条件でエラーによる配信処理停止時に配信レポートが送信される不具合の修正
- Gmail のメールボックス容量不足による不達が配信時サーバーエラーに分類される不具合を修正
- Windows 標準メーラーで長い件名が文字化けする現象に一部対応
- データベース整合性の定期チェック・修復機能の強化
- その他、既知の不具合の修正など

2023/3/13 Version 2.23

- 配信履歴の本文内容、配信データダウンロード機能を追加
- 配信履歴詳細画面のデザインを改良
- HTML エディタ v1 (β 版) 利用時、一部の条件で画面遷移時にエラーが表示される不具合を修正
- その他、既知の不具合の修正など

2023/07/11 Version 2.24

- 配信種別ごとの履歴保存日数設定を追加
- HTML エディタ v2 (β 版) の改良
- 不達原因フィルタの改良
- データベースの最適化
- その他、既知の不具合の修正など

2023/09/05 Version 2.25

- フォーム等一部 URL のセキュリティ強化
- ストーリー削除時のソート順に関する不具合を修正
- スпам配信事前防止機能の強化 (OEM 版)
- その他、既知の不具合の修正など

2023/11/21 Version 2.26

- 読者 API 機能を追加
- Gmail 送信者ガイドライン更新に対応 (List-Unsubscribe-Post ヘッダを追加)
- List-Unsubscribe ヘッダリンクへの自動アクセス対策を実施
- 一部画面の表示修正
- その他、既知の不具合の修正など

第2章 免責事項

下記の免責事項をご承諾頂いた方のみこのソフトウェアを利用頂くことが出来ます。
また、ソフトウェア等をダウンロードした時点で下記免責事項に承諾したものとみなします。

1. ソフトウェアの著作権

ソフトウェア一式およびそれに付随する取扱説明書等の著作権は、全て株式会社イグレックス（以下弊社）に帰属します。

2. ソフトウェアの改変等

ソフトウェア利用者は、いかなる理由があろうともソフトウェアを構成する全てのファイルおよびそれに付随するファイル等（以下ソフトウェア）の改変、修正、複製、配布、譲渡、貸与、コンパイル、逆コンパイル等を行なうことはできません。
但し、弊社が認めた場合はこの限りではありません。

3. ソフトウェアを使用したことによる損害、保証等

このソフトウェアを使用したことによる一切の損害等に対し弊社では責任を負いません。また、弊社はソフトウェアの動作等および利用者の利益を保証するものではありません。

ソフトウェアを動作させるサーバー等の指定はありませんが、ソフトウェアの動作環境を満たしたサーバーが必要です。

動作環境を満たしている場合でも、大量のデータを取り扱う場合はサーバ負荷が高くなり、動作しない場合がありますので予めご了承ください。

レンタルサーバなど、複数人が利用するサーバによっては、負荷の高い操作や大量のメール配信などを禁止している場合があります、このような禁止行為を行なうことは出来ません。また、禁止されていなくても、共同利用者やサーバ提供者、サーバ機器等に迷惑、損害行為を与える使用はできません。

大量のメール配信を行う予定がある場合は、専用 WEB サーバまたは専用メールサーバの使用を強く推奨します。

4. 使用の中止について

このソフトウェアには、一部の場合を除き、使用期限はありません。

ただし、弊社が不適当と判断した場合においては、内容、理由を問わず、ソフトウェアの使用を取りやめて頂く場合があります。

弊社から使用の中止を求められた場合は、ただちに WEB サーバー、ご使用の PC、CD、FD、HDD 等の記憶媒体から当該ソフトウェアを削除しなければならないものとします。

5. 使用禁止

弊社が提供するソフトウェアはレンタルに使用することは出来ません。

但し、弊社が認めた場合はこの限りではありません。

また、法令や条例、公序良俗に反する使用、SPAM メールなど他人に迷惑となるような使用を行うことはできません。

6. 購入代理及び販売代理

弊社ソフトウェア販売を促進する広告等の出稿に制限はありません。

また、販売代理による仲介料を得る場合には、弊社が登録するアフィリエイトサービスプロバイダ（以下 ASP）を通し販売代理契約を結ぶか、弊社が直接販売代理契約を結んだ者でなければなりません。

また、弊社が認めた場合を除き、販売代理者が直接購入者から購入代金を徴収することはできません。購入に関しては、購入者の制限はありません。ただし、ASP を介して購入する場合には、当該 ASP の

規約を厳守したうえで購入しなければなりません。

7. ソフトウェアの複数使用

有償・無償を問わず、同一ユーザーかつ同一サーバーに限り、複数使用が可能です。
詳しくは下記の定義をご覧ください、不明な点は弊社までご相談ください。

※同一ユーザーとは

レンタルや運営代行（弊社が認めた場合）は同一ユーザーではございません。
例えば、ショッピングモールやレンタルサーバー事業者が、会員にソフトウェアを使用させることや、ホームページ制作・運営会社などが複数の顧客に本ソフトウェアを販売・提供することはできません。

※同一サーバーとは

ハード面とソフト面の両面から明らかに同一と判明している場合です。
同じサーバー（ハード）であっても、共用サーバーの各アカウントや明らかに異なるコンテンツを提供している場合は、別サーバーになります。（ドメイン転送 など）

※複数使用が可能な例

- ・会員用と非会員用メール配信を行うために同一サーバ内にソフトウェアを複数設置する。
- ・動作の負荷を分散させる目的で、同一サーバ内にソフトウェアを複数設置する。

※複数使用にはあたらない例

- ・同一ソフトウェアで、複数のサイトの会員を管理したりする場合。

8. ソフトウェア別の免責事項

ソフトウェアによっては、個別の免責事項が掲載されている場合もございますので、ご注意願います。

9. ダウンロードのパスワード

有償のソフトウェアにつきましては、ソフトウェアをダウンロードするためのキーを取得するパスワードを商品 PDF ファイルに記載しております。

指定の場所から、そのパスワードを利用して当該ソフトウェアのダウンロードキーまたはバージョンアップキーを取得します。

その後、指定の場所から、取得したダウンロードキーまたはバージョンアップキーを入力し、ソフトウェアをダウンロードするか、ソフトウェアの管理画面からオンラインバージョンアップを行うことができます。

10. 有効期限

ダウンロードしたソフトウェア等に使用期限はありません。

使用期限がありませんので、何年でもご利用頂く事が出来ます。

ただし、有償のソフトウェアのダウンロードキー、バージョンアップキーを取得するためのパスワードは、必要に応じ随時変更しますので、お早めにキーを取得しておくことをお勧めします。

11. 免責事項について

この免責事項に承諾いただけない方は弊社ソフトウェアを使用することが出来ません。

弊社ソフトウェアをダウンロードした時点で、この免責事項を承諾したものとみなします。

12. 違約金

弊社はこの免責事項に違反した行為を行った利用者に対し、当該ソフトウェアの即刻停止および削除、違約金として金一千万円を請求いたします。被請求者はこれに速やかに従うものとします。

13. 免責事項の変更

この免責事項は、弊社が必要と判断した場合に加筆、修正を行う場合があります。
また弊社は、ソフトウェア利用者への免責事項の変更、修正等の承諾、通知等の義務は負わないものとします。

【改定履歴】

- ・ 2012年1月17日 著作権の帰属元を株式会社イグレックスに変更

第3章 本書の概要

1. 対象ソフトウェア

本書は原則として有償版ソフトウェア「MilkyStep Professional」に関しての取り扱い方法を説明しています。

2. 対象ソフトウェアの使用目的

RFCに準拠したEメールを用いたメールマガジンの配信、段階的定期メール（ステップメール）の配信、ループメールの配信、およびそれらの読者反応率等の統計、分析による販売戦略等の検討分析。

3. 無償版について

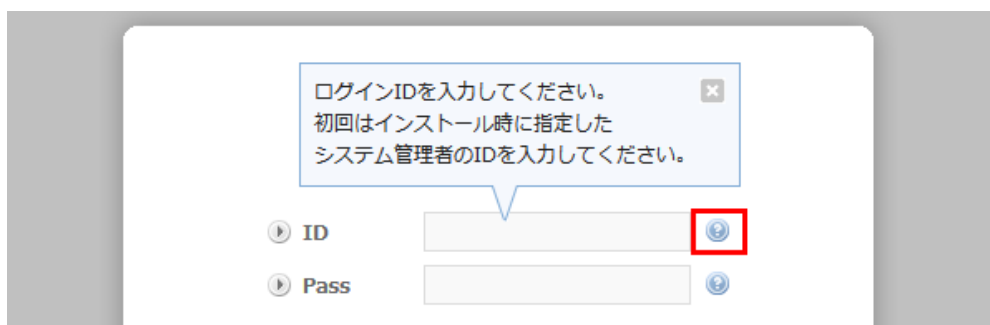
文中に「※この機能は MilkyStep Professional にてご利用いただけます。」と記載されている場合は、無償版「MilkyStep Light」において、当該機能を使用することはできません。
有償版「MilkyStep Professional」をお買い求めいただくことにより使用できるようになります。

4. 差し込み画像について

本書中に記載されている説明用画像は、本書執筆時のソフトウェアの状態を表したもので、バージョンアップ等に伴い、実際使用するソフトウェアの画像とは若干の違いが生じる場合がありますので、ご了承ください。

5. ヘルプ機能について

バージョンの違いにより、コントロールパネル内の各設定入力箇所に、ヘルプボタン（“?”マーク）が表示されている場合があります。（Professional Ver1.76以降）このヘルプボタンをクリックすると、当説明書での記載とほぼ同様の解説が表示されます。ヘルプボタンの無い設定箇所については、当説明書の該当箇所をご参照ください。



6. 本書の取り扱い

本書「免責事項」に記載の通り、本書はソフトウェアに付随するファイルの一部となりますので、取り扱いもソフトウェアと同等となります。
よって、著作権等含むその他の事項は「免責事項」に沿うものとします。

7. 購入後のサポート

MilkyStep をご利用の方に対し個別のサポートは行っておりません。その代り、ご利用者限定の公式コミュニティサイトをご用意しております。

これは、本書の説明で不明の点や、高度なソフトウェアの利用法などを、利用者同士で質問・回答を行ったりして理解を深めるための SNS サイトです。

また、コミュニティ内で開発元が回答や補足説明を行う場合がありますが、その義務は負いませんのであらかじめご了承ください。

利用方法は「トラブルシューティング編」の「コミュニティサイトの利用方法」の章をご参照ください

い。

公式コミュニティ URL : http://milkystep.com/ms_poc/

第4章 ソフトウェアの動作環境

1. 必要動作環境

- Unix 系サーバ上で Web サーバが動作すること
- Web サーバから CGI が実行できること
- Perl5.6.1以上が使用できること
- MySQL4.1.1以上が使用できること
- ハードディスク空き容量20MB 以上が確保されていること（データベースサーバを除く）
- 指定の Perl モジュール（表 1）がインストールされていること（インストール時に自動チェックを行います）
- CGI から sendmail コマンドが利用できる、または送信できるメールサーバ（SMTP サーバ）があること
- WEB サーバが.htaccess の上書き（AllowOverride All）を許可しており、Options ディレクティブが利用できること

表 1

モジュール名	備考
Digest::MD5	暗号化を行う Crypt::CBC モジュールなどが動作するのに必要です。
CGI	パラメータの受け渡し等に必須です。
CGI::Cookie	セッション管理等に必須です。
DBI	データベースドライバと連携するために必要です。
DBD::mysql	MySQL データベースと連携するために必要です。
Scalar::Util (Professional Ver1.50以降)	テンプレートエンジン（HTML::Template）が動作するのに必要です。

2. 推奨動作環境

- CRON が利用できる
- MySQL クライアント（phpmyadmin など）が利用できる
- CGI からユーザ権限でシステムコールができる
- オプション Perl モジュール（表 2）がインストールされている
- WEB サーバの mod_rewrite が利用できる

表 2

モジュール名	備考
Archive::Zip	データベースのバックアップ&リストア、及びシステムのワンクリックバージョンアップを行うために必要です。
LWP::UserAgent	記事の自動取得、自動代理登録、システムのワンクリックバージョンアップを行うために必要です。
HTTP::Request::Common	記事の自動取得、自動代理登録、システムのワンクリックバージョンアップを行うために必要です。
HTTP::Cookies	記事の自動取得、自動代理登録を行うために必要です。
IO::Socket::SSL	エラーメール処理時や SMTP サーバを指定してのメール送信時、SSL で POP/SMTP に接続する場合に必要です。

Authen::SASL	SMTP サーバを指定してのメール送信時、SMTP 認証を行う場合に必要です。
Net::SSLeay	SSL 通信を利用して記事の自動取得を行う際に必要です。Infotop.pm などを利用する場合はこれが必要になります。ただし Crypt::SSLeay モジュールがインストールされていれば必要ありません。
Crypt::SSLeay	SSL 通信を利用して記事の自動取得を行う際に必要です。Infotop.pm などを利用する場合はこれが必要になります。ただし Net::SSLeay モジュールがインストールされていれば必要ありません。
GD (Professional Ver1.41以降)	QR コードなどを生成するために必要です。

※MilkyStep の使用を目的に新たなサーバのレンタル、購入を予定されている方は、以上の動作条件を満たしているか事前に十分確認していただくようお願いいたします。
上記の動作環境を満たしていないサーバでの動作は保障しておりません。

第5章 初期設定

1. ソフトウェアのダウンロード

a. MilkyStep Light（無償）を初めて使用する場合

以下のダウンロードページから、必要事項を入力してダウンロード申請を行います。

http://milkystep.com/dl_msl.php

送信されたメールに記載された URL にアクセスしソフトウェアをダウンロードしてください。

ファイル名は「ms_light.zip」となります。

b. すでに MilkyStep Light（無償）を設置済みで、Professional（有償）へ移行する場合

ダウンロードの必要はありません。

管理画面の「共通設定」→「バージョンアップ」から、オンラインバージョンアップが可能です。

【共通設定編】第5章「Light から Professional への移行および Professional のバージョンアップ」を参考にバージョンアップを行ってください。

c. MilkyStep Light（無償）を設置しておらず、Professional（有償）を初めて使用する場合

以下のページにアクセスします。

http://milkystep.com/download/dl_key.pl

「*MilkyStep Professional* システム一式」のフォームに、購入時に取得した PDF ファイルに記載されているパスワードを入力し「キー取得」ボタンをクリックします。



商品バージョンアップキー取得フォーム

このたびは弊社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

弊社の商品は品質確保とご利用者の声に順次お答えするために、頻繁に商品のバージョンアップを行う場合があります。そのためセキュリティ上、バージョンアップを行う際には、その都度ご利用者に専用のバージョンアップキーをご入力いただき、認証を行ってから商品の上位版を提供していく方式をとらせていただいております。

バージョンアップ版が公開された際は、随時商品管理画面の「お知らせ」等で通知させていただきます。

その際の新規バージョンアップキーはご購入者専用メールマガジンにてお知らせ致します。

また、ご購入者専用コミュニティの入場パスワード等が変更になった場合も、このメールマガジンにてお知らせ致します。

次に、商品購入時に取得したキー取得用パスワードを、該当する商品の欄に入力して「キー取得」ボタンを押してください。

■MilkyStep professional システム一式

<input type="text"/>	キー取得
----------------------	------

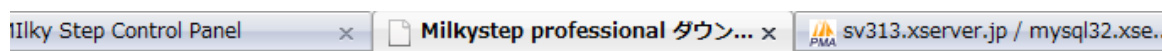
■MilkyStep professional 用オプションスクリプト

・メルそう用 自動記事取得スクリプト(Mailzou.pm) キー取得

・インフォカート用 自動記事取得スクリプト(Infocart.pm) キー取得

・メルそう用 自動記事取得スクリプト(Mailzou.pm) キー取得

最新バージョンのダウンロードキーが表示されますので、バージョンとキーをメモします。



公開中の最新バージョン(ver.1)のバージョンアップキーは

_____です。

管理画面のバージョンアップからこのキーを入力して、バージョンアップを行ってください。

メモしたら、以下のページにアクセスします。

http://milkystep.com/download/dl_ms.pl

「MilkyStep Professional システム一式」の欄で先ほど表示されたバージョンのフォームにキーを入力して、「ダウンロード」ボタンをクリックします。

Initial page

MilkyStep professional システムダウンロードフォーム

こちらより最新版のMilkyStep professionalのシステム一式およびオプションスクリプトをダウンロードできます。
ダウンロードしたい商品のテキストボックスに、ダウンロードキーを入力して「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。

■MilkyStep professional システム一式

最新バージョン: ver1.00
前バージョンからの変更点: MilkyStep Professional新規公開

_____ - _____

■MilkyStep professional用オプションスクリプト

■メルぞう用 自動記事取得スクリプト (Mailzou.pm)

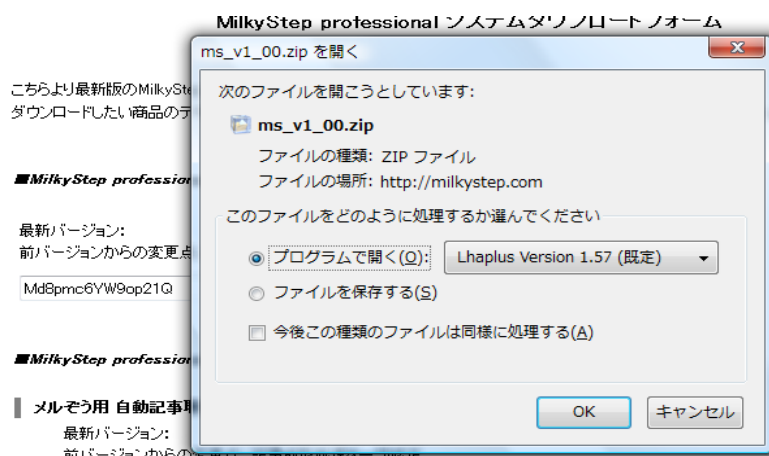
最新バージョン: ver1.02
前バージョンからの変更点: 記事成形処理を一部修正

_____ - _____

■インフォカート用 自動記事取得スクリプト (Infocart.pm)

最新バージョン: ver1.02

最新版のシステム一式がダウンロードされます。



※ファイル名は「ms_v*_*」(*はバージョン番号)となります。

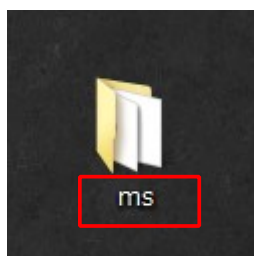
※オプションスクリプトのキー取得、ダウンロードの場合も同様の手順となります。

2. インストールの準備

1. でダウンロードしたファイルは zip 圧縮されていますので、解凍ソフトなどを使用して解凍してください。

ご自分の PC で解凍できない場合や、解凍ソフトがインストールされていない場合は、Lhaplus などの解凍ソフトをインストールしてご利用ください。

解凍したフォルダを好きな名前に変更します。フォルダ名は半角英数とアンダーバー(_)の組み合わせで指定します。運用を開始するとこのフォルダ名は変更できなくなりますのでご注意ください。(本書ではフォルダ名を「ms」として説明します。)



「ms」フォルダの中のファイル「install.cgi」をテキストエディタ等で開きます。

名前	更新日時	種類	サイズ
asp_opt	2010/03/13 16:08	ファイル フォルダ	
backup	2010/03/10 11:45	ファイル フォルダ	
ext_lib	2010/03/13 16:13	ファイル フォルダ	
img	2010/03/13 16:13	ファイル フォルダ	
js	2010/03/13 16:13	ファイル フォルダ	
lib	2010/03/13 16:13	ファイル フォルダ	
tmp	2010/02/14 14:01	ファイル フォルダ	
action.cgi	2010/03/09 16:57	CGI ファイル	2 KB
config.cgi	2010/03/13 15:47	CGI ファイル	1 KB
cs.cgi	2010/03/09 17:35	CGI ファイル	1 KB
dlc.cgi	2010/03/09 17:16	CGI ファイル	1 KB
form_if.cgi	2010/02/20 3:47	CGI ファイル	1 KB
index.cgi	2010/02/20 3:39	CGI ファイル	13 KB
install.cgi	2010/02/17 23:53	CGI ファイル	23 KB
reg.cgi	2010/02/23 13:07	CGI ファイル	11 KB
rm.cgi	2010/02/20 3:44	CGI ファイル	3 KB

※ファイルの文字コードは「utf8」で保存されています。Windows 付属の「メモ帳」などでも開くことができます。

ファイルの一行目を「#!」に続けて、ご利用のサーバの指定する Perl のパスに書き換えます。

※Perl のパスがわからない場合は、サーバ管理者にお問い合わせください。

※Perl のパスはほとんどの場合「/usr/bin/perl」か「/usr/local/bin/perl」に設定されています。

```

1 #!/usr/bin/perl
2 #####
3 # ↑ 上記のperlのパスを設定した後、このファイルにアクセスします↓
4 #
5 # ↓ 以下は変更しないでください↓
6 #####
7
8 #####
9 # This file is a copyrighted work is protected by copyright law.↓
10 # Igreks Communications owns the copyrights in this.↓
11 # Copying or modification of the code of this file is prohibited.↓
12 # Copyright owner, developer and seller is not responsible for↓
13 # any problems caused by copying or modification of the user.↓
14 #####
15 package main;↓
16 ↓
17 use strict;↓
18 use CGI::Carp qw(fatalsToBrowser);↓
19 $|=1;↓
20 ↓
21 my $ms_dir = "";↓
22 if ($0 =~ /(.*[/\%\\%])/){↓
23     $ms_dir = $1;↓
24 }else {↓
25     $ms_dir = './';↓
26 }↓
27 ↓
28 my $scgi = 'install.cgi';↓
29 ↓
30 # Get form data(transfer POST)↓
31 if ($ENV{'REQUEST_METHOD'} eq 'POST'){↓
32     use CGI;↓

```

保存してエディタを終了します。

次に、MilkyStep をインストールするサーバに FTP ソフトなどを利用して接続します。

※レンタルサーバをご利用の方は、FTP サーバ名やユーザ ID、パスワード等は契約時に発行されているはずですので、ご自身の FTP 情報を確認してください。

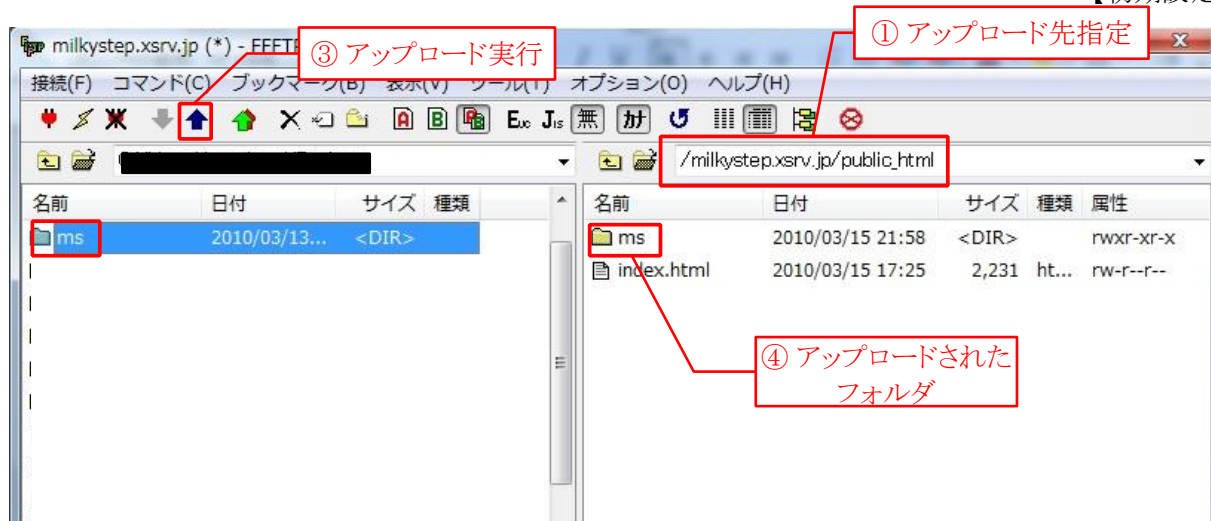
※また、サーバによってはファイルの転送方法が指定されている場合がありますので、その場合はサーバの仕様に沿って接続を行ってください。

本書では、FTP ソフトは「FFFTP」（無料）、サーバは「エックスサーバ」の X10 プランを利用して説明します。

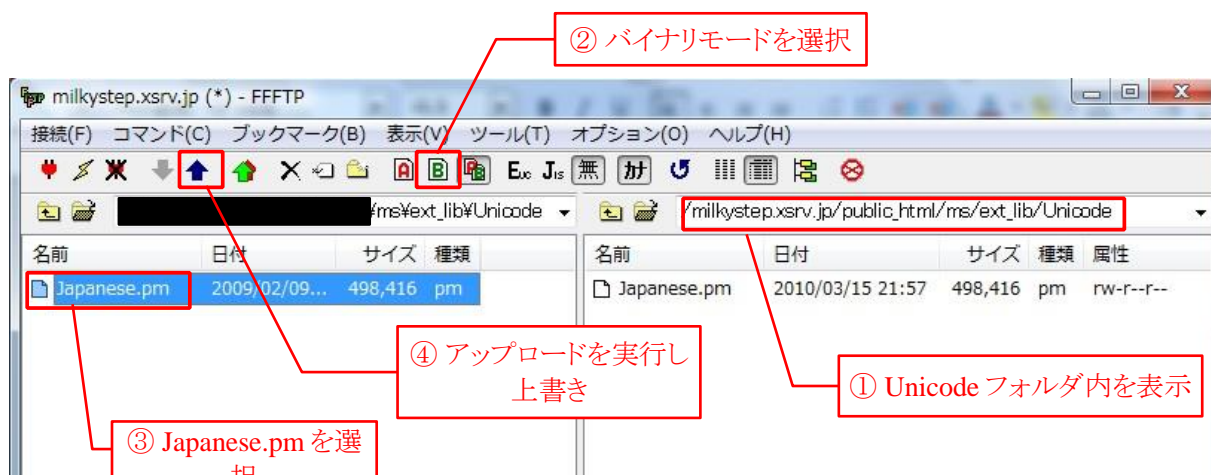
まず、「ms」フォルダを、インストールしたい場所にフォルダごとアップロードします。

※サーバによっては、CGI を実行できるフォルダが決められている場合があります。不明な場合はサーバ管理者までお問い合わせください。

※エックスサーバの場合は、CGI ファイルを設置する場所に決まりはありません。（本書執筆時）

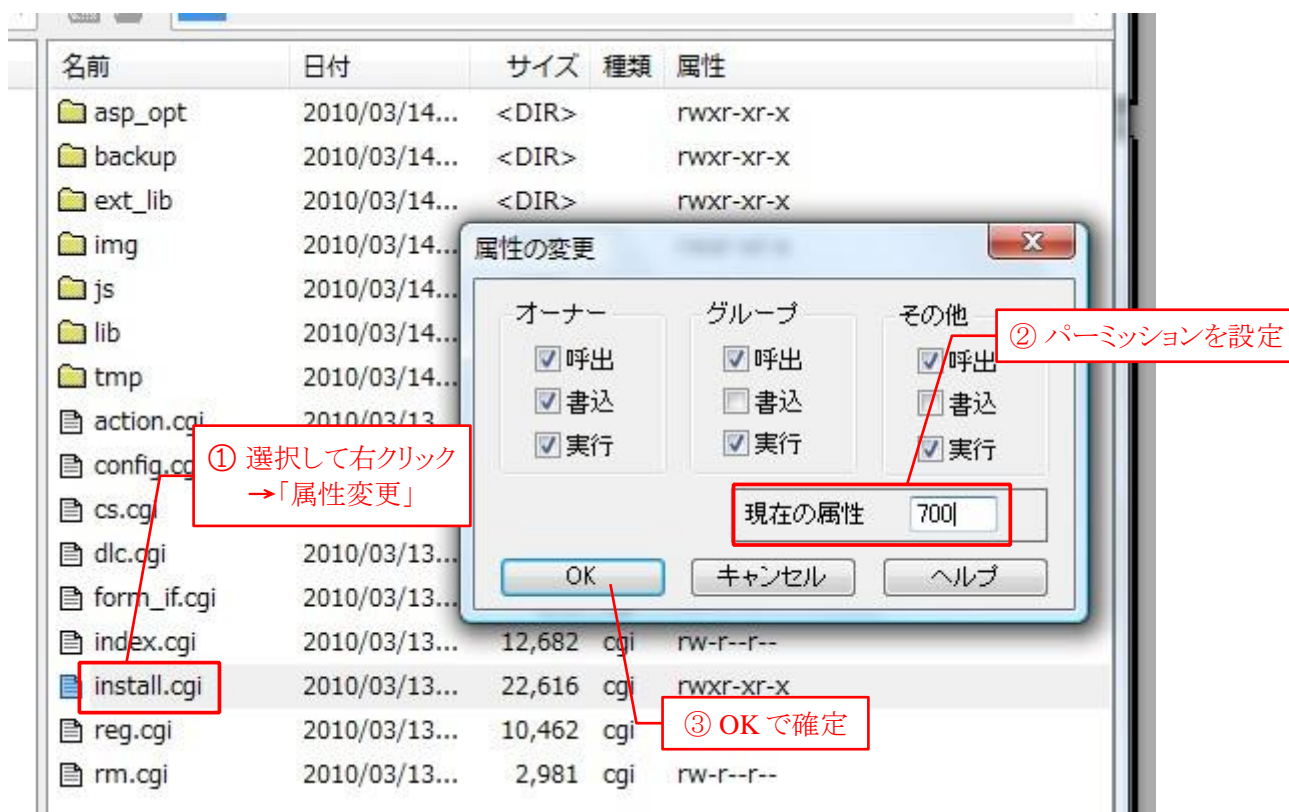


続いて、ローカル側と、サーバ側の「ms」フォルダ内にある「ext_lib/Unicode/Japanese.pm」を両方表示させ、「バイナリモード」でアップロードし、上書きします。



次に、サーバ側の ms フォルダ直下にある「install.cgi」のファイルのパーミッション（属性）を、サーバが指定する、CGI が実行できるパーミッションに合わせます。
エックスサーバの場合は推奨値（本書執筆時）の700に設定します。

※CGI の許可されているパーミッションは、サーバによって異なります。CGI が suexec 下で動作する場合は「755」や「705」等では動作しない場合があります。不明な場合はサーバ管理者までお問い合わせください。



パーミッションの設定が完了したら、インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動し、先ほどの「install.cgi」ファイルへアクセスします。
※本書ではブラウザに Mozilla FireFox を使用して説明します

例では、公開できる最上位のディレクトリ（ドキュメントルート）である「public_html」の直下に「ms」フォルダをアップロードしたので、アクセスする URL は、
「http://設置したサーバのホスト名. サーバのドメイン名/ms/install.cgi」
となります。

エックスサーバの場合は、デフォルトで自分の ID がホスト名になりますので、たとえば ID が「milkystep」でドメインが「xsrv.jp」の場合は、
「http://milkystep.xsrv.jp /ms/install.cgi」となります。

また、独自ドメインを適用している場合は、この例でいくと
「http://独自ドメイン/ms/install.cgi」となります。

【※さくらの共用サーバをご利用の場合】 -----

さくらの共用サーバ（専用・VPS 以外のレンタルサーバ）では、.htaccess ファイルの Options ディレクティブが利用できない仕様になっている（本書執筆時）ため、上記の手順でインストールを行った場合でも、Internal Server Error が発生いたします。
ただ、検証段階でのみ利用したいというお客様もいらっしゃるかと思いますので、下記にこのエラーになった場合の対処方法を記載いたします。

1. MilkyStep 本体ディレクトリの中の「.htaccess」というファイルをエディタ等で開きます。

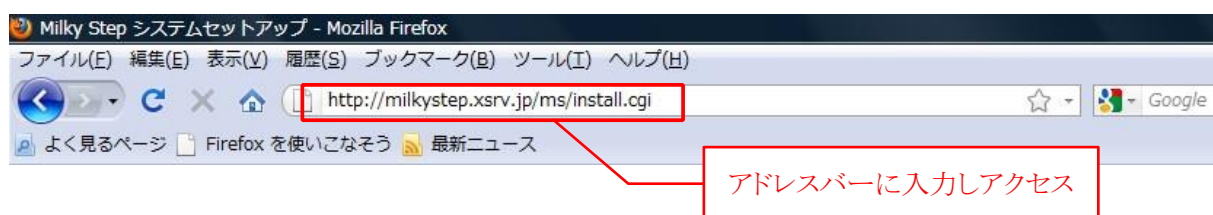
2. 「Options -Indexes +ExecCGI」と書いてある行の行頭に、「#」（シャープ）を付け加えて保存します。

Options -Indexes +ExecCGI
↓
#Options -Indexes +ExecCGI

3. 保存したファイルを、FTP ソフトを利用して、サーバ上の同じ場所（MilkyStep 本体ディレクトリの直下）に、上書きでアップロードします。

手順は以上になります。

1クリックバージョンアップを行った場合、上記の.htaccess ファイルは上書きされてしまいますので、大変お手数ですがバージョンアップの都度、上記の手順で.htaccess ファイルのみ更新していただきますようお願いいたします。



※以下のようなエラーが表示された場合



エラー

./libディレクトリにWEBサーバから書き込みができません。

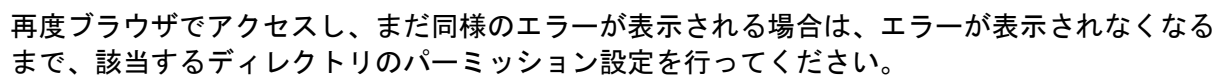
msディレクトリ以下の全てのディレクトリに書き込みできるようパーミッションを変更してください。

このようなエラーが表示された場合は、CGI は正常に動作していますが、設置した「ms」ディレクトリ本体か、その中にあるサブディレクトリに、CGI からファイルを書き込んだりする権限が無いことを示しています。

上記の場合「./lib」ディレクトリに書き込みができないので、「ms」ディレクトリ内の「lib」ディレクトリのパーミッションを変更して、CGI から書き込みができるようにする必要があります。（※FFFTP で転送した場合はデフォルトで「755」に設定されます。）

変更の仕方は、先ほどの要領で行います。エックスサーバの場合は、「711（推奨値）」や「755」などで書き込みができるようになります。（本書執筆時）

サーバによってはこのパーミッションが決められている場合があります。不明な場合はサーバ管



- ・「404 Not Found」と表示される場合

- ・「Internal Server Error」と表示される場合

CGI の内部エラーを表します。

ファイルのパーミッションの設定が間違っている場合によく発生します。

CGI ファイルのパーミッションが正しいかどうか確認してください。

24/45



Milky Step サーバ環境チェック結果

サーバOS:	linux
Perlのバージョン:	5.8.8
Perlのパス:	不明

【必須モジュールのインストール状況】

Digest::MD5...

[OK] あなたの使用しているサーバには、Digest::MD5モジュールがインストールされています。
(バージョン 2.36)

CGI...

[OK] あなたの使用しているサーバには、CGIモジュールがインストールされています。
(バージョン 3.15)

CGI::Cookie...

[OK] あなたの使用しているサーバには、CGI::Cookieモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.26)

DBI...

[OK] あなたの使用しているサーバには、DBIモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.607)

DBD::mysql...

[OK] あなたの使用しているサーバには、DBD::mysqlモジュールがインストールされています。

(以下略)

3. システムのインストール

「install.cgi」にアクセスし、サーバ環境チェック結果が表示されたら、画面の指示に従って初期インストールを行います。画面をスクロールさせて結果を確認します。

「必須モジュールのインストール状況」には、動作に必要な Perl モジュール（Perl の機能を拡張するためのファイル）名が表示されています。

この必須モジュールのうち一つでも「NG」と表示された場合は、現段階で MilkyStep を使用することはできません。

その場合は、サーバ管理者に依頼し NG となっているモジュールをインストールしてもらうか、すでにインストール済みのサーバをご利用ください。

【必須モジュールのインストール状況】

Digest::MD5...

[OK] あなたの使用しているサーバには、Digest::MD5モジュールがインストールされています。
(バージョン 2.36)

CGI...

[OK] あなたの使用しているサーバには、CGIモジュールがインストールされています。
(バージョン 3.15)

CGI::Cookie...

[OK] あなたの使用しているサーバには、CGI::Cookieモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.26)

DBI...

[OK] あなたの使用しているサーバには、DBIモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.607)

DBD::mysql...

[OK] あなたの使用しているサーバには、DBD::mysqlモジュールがインストールされています。
(バージョン 4.008)

「オプションモジュールのインストール状況」には、MilkyStep で利用できる様々な機能を実現するためのモジュール名がリストアップされています。

これらのモジュールは NG と表示されていても、MilkyStep 自体は動作します。但し、一部の機能が利用できませんので予めご了承ください。

また、この段階でインストールされていなくても、MilkyStep のインストール後にモジュールがインストールされれば、その時点で当該機能を利用できるようになります。

【オプションモジュールのインストール状況】

Archive::Zip...

[OK] あなたの使用しているサーバには、Archive::Zipモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.30)

LWP::UserAgent...

[OK] あなたの使用しているサーバには、LWP::UserAgentモジュールがインストールされています。
(バージョン 2.033)

HTTP::Request::Common...

[OK] あなたの使用しているサーバには、HTTP::Request::Commonモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.26)

HTTP::Cookies...

[OK] あなたの使用しているサーバには、HTTP::Cookiesモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.39)

IO::Socket::SSL...

[OK] あなたの使用しているサーバには、IO::Socket::SSLモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.31)

Authen::SASL...

[NG] あなたの使用しているサーバには、Authen::SASL モジュールがインストールされていません。
SMTPサーバを指定してのメール送信時、SMTP認証を行う場合に必要です。

Net::SSLeay...

[OK] あなたの使用しているサーバには、Net::SSLeayモジュールがインストールされています。
(バージョン 1.35)

Crypt::SSLeay...

[OK] あなたの使用しているサーバには、Crypt::SSLeayモジュールがインストールされています。
(バージョン 0.57)

※上記の例の場合、「Authen::SASL」モジュールがインストールされていないため、SMTPサーバを利用してのメール配信時（sendmail を利用しない）に、SMTP 認証ができないことを示します。

環境チェックでインストールが可能と判断されると、画面の下に「次へ」ボタンが表示されます。問題なければ「次へ」をクリックして、次の操作に進みます。

【Milky Stepが利用できます】

あなたのサーバには動作に最低限必要なモジュールはすべてインストールされています。Milky Stepを使用することができます。

※これは、お使いのサーバのperl適正を調査したものです。データベースサーバ(MySQL4.1.1以上)は別途必要になります。MySQLサーバが使用できるかどうかは、各サーバのサポートにご確認ください。

※このサーバ環境調査は非常に高い確率で正しい情報ですが、MilkyStep professionalの購入をご検討されているお客様も、念のため一度無料版のMilkyStep lightを設置し、正常な動作確認を行ってからご購入いただくことをおすすめ致します。

引き続きインストールを行う場合は「次へ」をクリックしてください

次へ

次に、システム管理者情報や、データベース情報などを設定します。

まず、画面の前半でシステム管理者情報を設定します。

- ・システム管理者（インストールを行う人）のログイン ID（任意の文字列）を入力します。
- ・システム管理者のパスワード（任意の文字列）を入力します。
- ・システム管理者がパスワードを紛失した際に再発行するためのパスフレーズ（任意の文字列）を入力します。
- ・システム管理者の使用できるメールアドレスを入力します。
※これらは、後で変更が可能です。
- ・暗号化に使用するキー（任意の文字列）を入力します。
※この値は、後から変更することはできません。
- ・システムから送信される送信元メールアドレスを入力します。このアドレスはシステム管理者のアドレスと同じでも構いませんが、MilkyStep を設置したサーバにて取得した、実際に使用できるアドレスを指定することを推奨します。
※このメールアドレスは後から変更が可能です。

Milky Step 初期設定

システム管理者(あなた)のログインIDとパスワードを指定してください。
※半角英数とアンダーバーの組み合わせで指定してください

システム管理者(あなた)のパスワードを再設定する際のパスフレーズを指定してください。

システム管理者(あなた)のメールアドレスを指定してください。

システムの暗号化に使用するキー(任意の文字列)を指定してください。
※半角英数とアンダーバーの組み合わせで指定してください
※キーの値は後から変更することはできません

システムのメールアドレスを指定してください。
※パスワードの再発行など、システムから送信されるメールのFROMに指定されます。
※半角英数とアンダーバーの組み合わせで指定してください
※このメールアドレスは後からでも変更できます。

使用するデータベースがあるホストを指定してください。

ID	<input type="text" value="milkystep"/>
PASSWORD	<input type="password" value="●●●●●●●●"/>
パスフレーズ	<input type="text"/>
	<input type="text" value="info@milkystep.xsrv.jp"/>
secret_key	<input type="text"/>
	<input type="text" value="info@milkystep.xsrv.jp"/>

続いて、データベース情報を設定します。

あらかじめデータベースサーバの情報を準備しておきます。

※MilkyStep の動作には「MySQL4.1.1以上」が必要です。MySQL のバージョンはインストール時にチェックを行えませんが、事前に十分確認していただくようお願いいたします。

※エックスサーバの場合のデータベース情報の確認方法

- ・サーバパネルにログインし、「DATABASE」→「MySQL Ver 切替」を選択します。

The screenshot shows the X ServerPanel interface. At the top, there's a navigation bar with 'トップ', 'マニュアル', and 'ログアウト'. Below it, a status bar indicates '★現在の設定対象ドメイン:milkystep.xsrv.jp'. The main content area is divided into several sections:

- [設定対象ドメインデータ]**: A table showing domain settings for 'milkystep.xsrv.jp'.

ドメイン	milkystep.xsrv.jp
サブドメイン	0
メールアカウント	0
FTPアカウント	0
- [アカウントデータ]**: A table showing account settings for 'milkystep'.

サーバーID	milkystep
ご利用プラン	X10
ディスク使用量	0.1MB
空き容量	19999.9MB
ドメイン	1
サブドメイン	0
メールアカウント	0
FTPアカウント	0
MySQL	0
- ACCOUNT**: Includes links for 'パスワード変更', 'サーバー情報', and 'バックアップ'.
- MAIL**: Includes links for 'メールアカウント設定', '迷惑メール設定', '自動応答設定', and 'メールの振り分け'.
- DOMAIN**: Includes links for 'ドメイン設定', 'サブドメイン設定', 'DNSレコード設定', and 'SSL設定'.
- HOME PAGE**: Includes links for 'アクセス制限', 'エラーページ設定', 'MIME設定', 'Cron設定', 'サイト転送設定', 'アクセス拒否設定', 'WEBプログラム', '自動インストール', and 'PHP Ver.切替'.
- FTP**: Includes a link for 'FTPアカウント設定'.
- STATISTICS**: Includes links for 'アクセス統計' and 'ログファイル'.
- DATABASE**: Includes links for 'MySQL Ver.切替' (highlighted with a red box), 'MySQL設定', and 'phpmyadmin'.

- ・MySQL のバージョンが4.1.1以上になっていることを確認します。なっていない場合は、切替を行ってください

The screenshot shows the 'MySQLバージョン切り替え' screen. It includes a warning message: '→ MySQLのバージョンを切り替えることが可能です。DBが使用中の場合は、バージョンの切り替えは行えません。使用中の場合は、まずDBの削除、DBユーザの削除が必要になります。' Below this, there are two tabs: 'MySQLバージョン切り替え' and 'MySQL情報'. The 'MySQLバージョン切り替え' tab is active, showing a table with the current version and a button to change it.

現在のバージョン	変更
MySQL5.0	MySQL4.0に変更する

- ・「MySQL 情報」をクリックしてホスト名を確認します。

MySQLバージョン切り替え

→ MySQLのバージョンを切り替えることが可能です。DBが使用中の場合は、バージョンの切り替えは行えません。使用中の場合は、まずDBの削除、DBユーザの削除が必要になります。

[\[MySQLバージョン切り替え \]](#)
[\[MySQL情報 \]](#)

MySQL5 バージョン	5.0.77
MySQL5 ホスト名	mysql32.xserver.jp
MySQL5 IPアドレス	219.94.203.193
標準文字コード	EUC-JP (DB作成時に文字コードを指定できるため、UTF-8などの利用も可能です)

※エックスサーバの場合、上記のホスト名（mysql*.xserver.jp）が MilkyStep をインストール時に入力する、MySQL のホスト名になります。

- ・サーバパネルのトップに戻り、「DATABASE」→「MySQL 設定」をクリックします。



[トップ](#)
[マニュアル](#)
[ログアウト](#)

★現在の設定対象ドメイン:milkystep.xsrv.jp

[設定対象ドメインデータ]

ドメイン:	milkystep.xsrv.jp
サブドメイン	0
メールアカウント	0
FTPアカウント	0

ACCOUNT

- ※パスワード変更
- ※サーバー情報
- ※バックアップ

MAIL

- ※メールアカウント設定
- ※迷惑メール設定
- ※自動応答設定
- ※メールの振り分け

DOMAIN

- ※ドメイン設定
- ※サブドメイン設定
- ※DNSレコード設定
- ※SSL設定

[アカウントデータ]

サーバーID:	milkystep
ご利用プラン	X10
ディスク使用量	0.1MB
空き容量	19999.9MB
ドメイン	1
サブドメイン	0
メールアカウント	0
FTPアカウント	0

HOMEPAGE

- ※アクセス制限
- ※エラーページ設定
- ※MIME設定
- ※Cron設定
- ※サイト転送設定
- ※アクセス拒否設定
- ※WEBプログラム
- ※自動インストール
- ※PHP Ver.切替

FTP

- ※FTPアカウント設定

STATISTICS

- ※アクセス統計
- ※ログファイル

DATABASE

- ※MySQL Ver.切替
- ※MySQL設定
- ※phpmyadmin

- ・まだデータベースを作成していない場合は、「MySQL の追加」を選択し、データベース名と文字コードを指定して「MySQL の追加（確認）」をクリックします。

※MilkyStep の文字コードは utf8なので、ここではとりあえず文字コードに UTF-8を指定します。
※文字コードが指定できないサーバでも、テーブル作成時に UTF-8指定で作成しますので問題ありません。

MySQL設定

→ MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

[\[MySQLの一覧 \]](#) [\[MySQLの追加 \]](#) [\[MySQLユーザの一覧 \]](#) [\[MySQLユーザの追加 \]](#)

MySQLデータベース名	milkystep_msd
文字コード	UTF-8

MySQLの追加(確認)

- ・「MySQL データベースの追加（確定）」をクリックして確定させます。

MySQL設定

→ MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

[\[MySQLの一覧 \]](#) [\[MySQLの追加 \]](#) [\[MySQLユーザの一覧 \]](#) [\[MySQLユーザの追加 \]](#)

MySQLデータベースを追加しますか？

MySQLデータベース	milkystep_msd
文字コード	UTF-8

MySQLデータベースの追加(確定)

- ・次に「MySQL ユーザの追加」を選択し、好きなユーザ ID、パスワード、確認パスワードを入力して「MySQL ユーザの追加」をクリックします。

※「ホスト名」は最初から入力されていますのでそのまま結構です。

MySQL設定

→ MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

[\[MySQLの一覧 \]](#) [\[MySQLの追加 \]](#) [\[MySQLユーザの一覧 \]](#) [\[MySQLユーザの追加 \]](#)

MySQLユーザID	milkystep_msuser
ホスト名	sv313.xserver.jp
パスワード	●●●●●●
パスワードの確認	●●●●●●

MySQLユーザの追加(確認)

- ・「MySQL ユーザの追加（確定）」をクリックして確定します。

MySQL設定

→ MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

[\[MySQLの一覧 \]](#)
[\[MySQLの追加 \]](#)
[\[MySQLユーザの一覧 \]](#)
[\[MySQLユーザの追加 \]](#)

○MySQLユーザを追加しますか？

MySQLユーザ	milkystep_msuser
ホスト名	sv313.xserver.jp

MySQLユーザの追加(確定)

- ・「MySQL の一覧」の「アクセス権未所有ユーザ」から先ほど追加したユーザを選択し、「追加」をクリックします。

MySQL設定

→ MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

[\[MySQLの一覧 \]](#)
[\[MySQLの追加 \]](#)
[\[MySQLユーザの一覧 \]](#)
[\[MySQLユーザの追加 \]](#)

データベース	アクセス権所有ユーザ	アクセス権未所有ユーザ	削除
milkystep_msdb	ユーザーはいません ▼ <div>削除</div>	<div>milkystep_msuser(sv313.xserver.jp) ▼</div> <div>追加</div>	<div>削除</div>

- ・これで追加したユーザの ID とパスワードでデータベースにアクセスできるようになりました。

MySQL設定

→ MySQLデータベース、MySQL用ユーザの作成・削除を行うことができます。MySQL用ユーザにアクセス権を与えることで初めてデータベースへのアクセスが可能になります。

[\[MySQLの一覧 \]](#)
[\[MySQLの追加 \]](#)
[\[MySQLユーザの一覧 \]](#)
[\[MySQLユーザの追加 \]](#)

データベース	アクセス権所有ユーザ	アクセス権未所有ユーザ	削除
milkystep_msdb	<div>milkystep_msuser(sv313.xserver.jp) ▼</div> <div>削除</div>	ユーザーはいません ▼ <div>追加</div>	<div>削除</div>

※ここで設定した「ホスト名（mysql32.xserver.jp）」「データベース名（milkystep_msdb）」「ユーザ名（milkystep_msuser）」「ユーザ追加時に設定したパスワード」が、MilkyStep 設定画面の「ホスト名」「データベース名」「ユーザ名」「パスワード」にあたりますので、忘れないように控えておいてください。

用意したデータベース情報をもとに、引き続き設定を行います。

- ・ データベースがあるホスト名を入力します。
- ・ データベース名を入力します。
- ・ データベースのユーザ名を入力します。
- ・ データベースのユーザパスワードを入力します。

使用するデータベースがあるホスト名を指定してください。

使用するデータベース名を指定してください。

使用するデータベースのユーザ名を指定してください。

使用するデータベースの接続パスワードを指定してください。

mysql32.xserver.jp
milkystep_msdb
milkystep_msuser
●●●●●●●●

最後に、外部からアクセスを受ける CGI ファイル名と sendmail のパスを入力します。

※ファイル名がデフォルトで良い場合はこの欄は変更する必要はありません。

※WEBサーバが CGI として認識する場合は、拡張子名 (.cgi) 部分も変更できます。
これは、ファイルが CGI (perl で書かれている) であることを外部に対してカモフラージュするためです。

エックスサーバの場合、.htaccess ファイルを設置したり MIME の設定を行うことで、好きな拡張子を CGI として動作させることが可能です。

詳細はサーバサポートや関連 WEB サイトなどを参照してください。

※sendmail のパスはプログラムが自動的に判別します。ただし、サーバ側から事前にパスが指定されている場合は、指定されているパスを指定してください。

(エックスサーバの場合は「/usr/sbin/sendmail」)

また、今のところパスがわからないので後から設定したい、また、sendmail コマンドを使用しないで SMTP サーバを直接指定してメール送信を行いたい場合は空欄にすることができます。

使用するデータベースの接続パスワードを指定してください。

●●●●●●●●

読者(第三者)からアクセスを受けるファイルのファイル名を設定できます。

※半角英数とアンダーバーの組み合わせで指定してください。

※サーバが CGI として認識する場合は、拡張子 (.cgi) 部分も変更できます。

※ファイル名は後から変更することはできません。

読者登録,登録解除処理用プログラムファイル	touroku.cgi
読者登録解除処理用プログラムファイル	kaijo.cgi
短縮URL処理用プログラムファイル	click.cgi

「/usr/lib/sendmail」にてsendmailのオープンに成功しました。

変更する場合は右記を修正してください。

/usr/sbin/sendmail

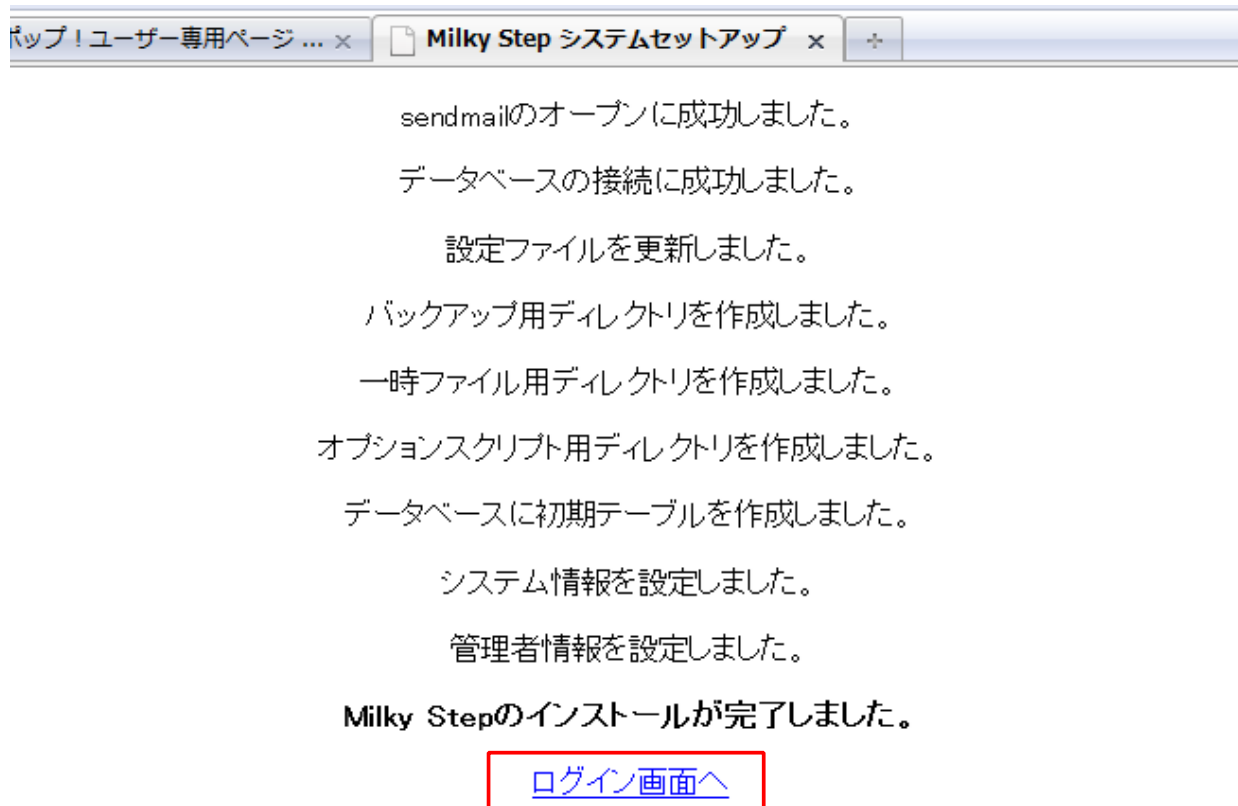
インストール開始

以上でインストールの入力は完了です。

この画面で入力した情報は、再インストール時や手動バージョンアップ時などに必要になりますので、**必ず控えておいてください**。

全ての入力が完了したら、「インストール開始」ボタンをクリックします。

正常にインストールが完了すると、以下の画面が表示されますので、「ログイン画面へ」をクリックしてログインページへ移動します。



※ログインページへ移動する場合は、「ms」ディレクトリ内の「index.cgi」へ直接アクセスすることでも可能です。

4. システムの再インストール

なんらかの事情があり、MilkyStep を再インストールしたい場合は、初回インストール時にサーバ上に自動生成されたファイル「def_config.cgi」を削除します。(Professional Ver1.83以降)

/milkystep.xsrv.jp/public_html/ms						
名前	日付	サイズ	種類	属性	所有者	
tpl	2015/04/24 13:19	<DIR>		rw-r--r--	milkystep	
upload	2015/04/24 13:19	<DIR>		rw-r--r--	milkystep	
.htaccess	2015/04/24 13:21	719	htaccess	rw-r--r--	milkystep	
action.cgi	2015/04/24 13:21	2,028	cgi	rw-r--r--	milkystep	
bcn.cgi	2015/04/24 13:21	1,804	cgi	rw-r--r--	milkystep	
config.cgi	2015/04/24 13:21	1,391	cgi	rw-r--r--	milkystep	
cs.cgi	2015/04/24 13:21	2,694	cgi	rw-r--r--	milkystep	
def_config.cgi	2015/04/24 13:21	1,391	cgi	rw-r--r--	milkystep	
defchk.cgi	2015/04/24 13:21	2,223	cgi	rw-r--r--	milkystep	
dlc.cgi	2015/04/24 13:21	4,409	cgi	rw-r--r--	milkystep	
form_if.cgi	2015/04/24 13:21	1,351	cgi	rw-r--r--	milkystep	
index.cgi	2015/04/24 13:21	23,539	cgi	rw-r--r--	milkystep	

削除後、再度「ms」ディレクトリの中の「install.cgi」にブラウザでアクセスします。

※再インストールを行うと、MilkyStep の全てのデータが消去され初期状態に戻ります。データベース内のデータも全て削除されます。取り扱いには十分注意してください。

初回インストール時同様の要領で、各情報を入力し「インストール開始」をクリックします。

Milky Step 初期設定

システム管理者(あなた)のログインIDとパスワードを指定してください。 ※半角英数とアンダーバーの組み合わせで指定してください	ID <input type="text" value="milkystep"/> PASSWORD <input type="password" value="●●●●●●●●"/>
システム管理者(あなた)のパスワードを再設定する際のパスフレーズを指定してください。	<input type="text" value="パスフレーズ"/>
システム管理者(あなた)のメールアドレスを指定してください。	<input type="text" value="info@milkystep.com"/>
システムの暗号化に使用するキー(任意の文字列)を指定してください。 ※半角英数とアンダーバーの組み合わせで指定してください ※キーの値は後から変更することはできません	<input type="text" value="milkystep"/>
システムのメールアドレスを指定してください。 ※パスワードの再発行など、システムから送信されるメールのFROMに指定されます。 ※半角英数とアンダーバーの組み合わせで指定してください ※このメールアドレスは後からでも変更できません	<input type="text" value="info@milkystep.com"/>

※サーバがCGIとして認識する場合は、拡張子(.cgi)部分も変更できません。
※ファイル名は後から変更することはできません。

読者登録,登録解除処理用プログラムファイル	<input type="text" value="touroku.cgi"/>
読者登録解除処理用プログラムファイル	<input type="text" value="kaijo.cgi"/>
短縮URL処理用プログラムファイル	<input type="text" value="click.cgi"/>

「/usr/lib/sendmail」にてsendmailのオープンに成功しました。
変更する場合は右記を修正してください。

システムが初期状態に戻ります。

「ログイン画面へ」をクリックしてログイン画面へ移動します。

sendmailのオープンに成功しました。

データベースの接続に成功しました。

設定ファイルを更新しました。

バックアップ用ディレクトリを作成しました。

一時ファイル用ディレクトリを作成しました。

オプションスクリプト用ディレクトリを作成しました。

データベースに初期テーブルを作成しました。

システム情報を設定しました。

管理者情報を設定しました。

Milky Stepのインストールが完了しました。

[ログイン画面へ](#)

第6章 CRON の設定

CRON（クーロン/クロン）は Unix サーバの機能の一つで、定期的に Unix コマンドを実行するためのものです。Windows でいうタスクスケジューラのようなものです。

MilkyStep を利用してメールの予約配信、ステップメールの配信、ループメールの配信等を行うためには CRON の設定が必須です。

※CRON が使用できない環境の場合は「[CRON が利用できない場合の代替法](#)」を参照してください。

1. CRON の設定方法

本書ではエックスサーバを利用して説明します。

エックスサーバのサーバパネルにログインし、「Cron 設定」をクリックします。

The screenshot shows the X ServerPanel interface. At the top, there's a navigation bar with links for 'トップ', 'マニュアル', and 'ログアウト'. Below this, a status bar indicates the current domain is 'milkystep.xsrv.jp'. The main content area is divided into several sections:

- [設定対象ドメインデータ]**: A table showing domain-related data for 'milkystep.xsrv.jp'.

ドメイン	milkystep.xsrv.jp
サブドメイン	0
メールアカウント	1
FTPアカウント	0
- ACCOUNT**: Includes links for 'パスワード変更', 'サーバー情報', and 'バックアップ'.
- MAIL**: Includes links for 'メールアカウント設定', '迷惑メール設定', '自動応答設定', and 'メールの振り分け'.
- DOMAIN**: Includes links for 'ドメイン設定', 'サブドメイン設定', 'DNSレコード設定', and 'SSL設定'.
- [アカウントデータ]**: A table showing account data for 'milkystep'.

サーバーID	milkystep
ご利用プラン	X10
ディスク使用量	1.7MB
空き容量	19998.3MB
ドメイン	1
サブドメイン	0
メールアカウント	1
FTPアカウント	0
MySQL	1
- HOME PAGE**: Includes links for 'アクセス制限', 'エラーページ設定', 'MIME設定', 'Cron設定' (highlighted with a red box), 'サイト転送設定', 'アクセス拒否設定', 'WEBプログラム', '自動インストール', and 'PHP Ver.切替'.
- FTP**: Includes a link for 'FTPアカウント設定'.
- STATISTICS**: Includes links for 'アクセス統計' and 'ログファイル'.
- DATABASE**: Includes links for 'MySQL Ver.切替', 'MySQL設定', and 'phpmyadmin'.

現在設定されている Cron の一覧が表示されますので、「CRON の追加」をクリックします。

ServerPanel

[トップ](#) [マニュアル](#) [ログアウト](#)

★現在の設定対象ドメイン: milkystep.xsrv.jp

Cron設定

→ 指定時間に指定コマンド(プログラム)を自動的に実行させる機能 Cron の設定を行うことができます。

[\[CRONの一覧 \]](#)
[\[CRONの追加 \]](#)

Cron結果の通知アドレス

通知アドレスの設定

分	時	日	月	曜日	コマンド	コメント	変更	削除
現在Cronの設定はありません。								

編集画面が表示されるので、各項目を入力して「CRON の追加」ボタンをクリックします。

Cron設定

→ 指定時間に指定コマンド(プログラム)を自動的に実行させる機能 Cron の設定を行うことができます。

[\[CRONの一覧 \]](#)
[\[CRONの追加 \]](#)

分	*/10	①
時間	*	②
日	*	③
月	*	④
曜日	*	⑤
コマンド	/home/milkystep/milkystep.xsrv. ⑥	
コメント	MilkyStep配信用 ⑦	

CRONの追加

- ①… CRON を起動する分 (minute) を指定します。MilkyStep は最短配信間隔が10分なので、10分置きに起動されるように「*/10」もしくは「0,10,20,30,40,50」と入力します。
- ②～⑤…それぞれ CRON を起動する時 (hour)、日 (day)、月 (month)、曜日 (week) を指定します。指定なしの場合は「*」と入力します。
- ⑥… CRON に実行させるコマンドを入力します。
 MilkyStep の起動は「cd “ms ディレクトリの絶対パス”; ./action.cgi;」の形式で入力します。
 エックスサーバの場合、ms ディレクトリの絶対パスは
 「/home/自分のサーバID/ホスト名.ドメイン名/public_html/ms」ですので、
 この例の場合入力するコマンドは、
 「cd /home/milkystep/milkystep.xsrv.jp/public_html/ms; ./action.cgi;」
 となります。

※ 「cd」と最初の「;」の直後は半角スペースです。ご注意ください。

※ここでの入力で、ファイル名を直接指定しなければならない（コマンドが利用できない）サーバの場合は、「**CRON 設定時にファイル名を直接指定しなければならない場合**」を参照してください。

⑦… この CRON の使用目的などを必要に応じて入力します。

※VPSなどでCRONの実行ユーザを指定する必要がある場合は、必ずWEBサーバの実効ユーザ名（apache など）を指定してください。WEBサーバの実効ユーザ名以外のものを指定すると、配信中に「不測のエラー」と表示されたり、配信中記事の配信停止操作が行えなくなる場合があります。

確認画面が表示されるので内容を確認し、問題なければ再度「CRONの追加」ボタンをクリックして確定させます。

Cron設定

→ 指定時間に指定コマンド(プログラム)を自動的に実行させる機能 Cron の設定を行うことができます。

[\[CRONの一覧 \]](#)
[\[CRONの追加 \]](#)

○以下のCronを追加しますか？

分	*/10
時間	*
日	*
月	*
曜日	*
コマンド	cd /home/milkystep/milkystep.xsrv.jp/public_html/ms; ./action.cgi
コメント	MilkyStep配信用

CRONの追加

「CRON の一覧」に新しい CRON が追加されました。
起動時の確認メールを受け取るため「Cron 結果の通知アドレス」に受信できるメールアドレスを指定して「通知アドレスの設定」ボタンをクリックします。

Cron設定

→ 指定時間に指定コマンド(プログラム)を自動的に実行させる機能 Cron の設定を行うことができます。

[\[CRONの一覧 \]](#)
[\[CRONの追加 \]](#)

Cron結果の通知アドレス

info@milkystep.xsrv.jp

通知アドレスの設定

分	時	日	月	曜日	コマンド	コメント	変更	削除
*/10	*	*	*	*	cd /home/milkystep/milkystep.xsrv.jp/public_html/ms; ./action.cgi	MilkyStep配信用	変更	削除

これで MilkyStep 用の CRON 設定が完了しました。

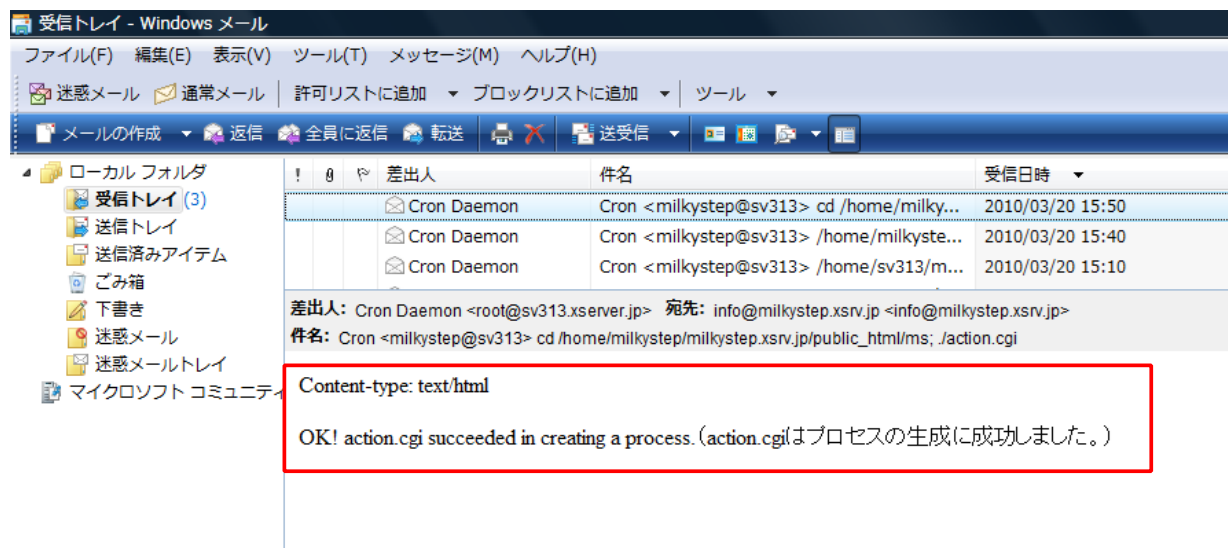
10分後にメールボックスを確認すると、CRON の結果通知メールが届いています。

本文に

Content-type: text/html

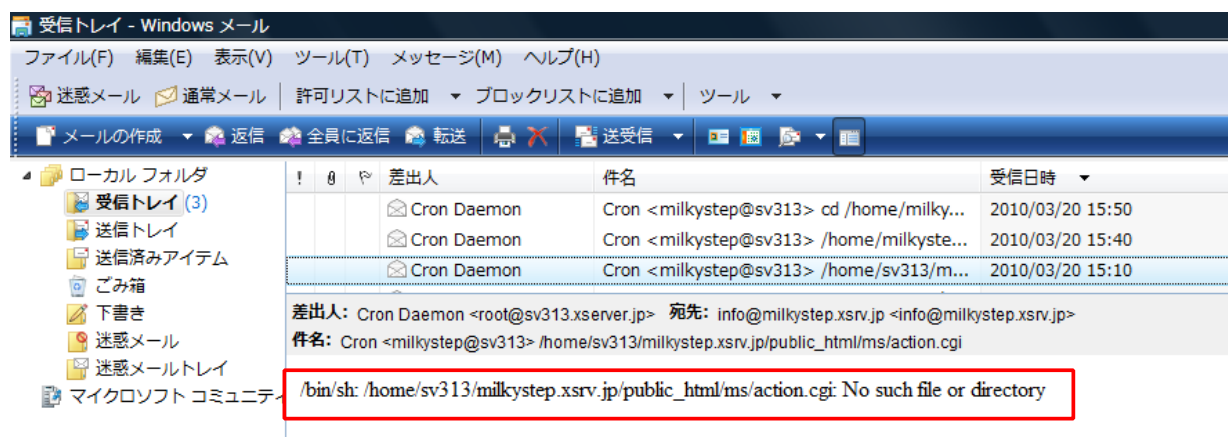
OK! action.cgi succeeded in creating a process. (action.cgi はプロセスの生成に成功しました。)

と記載されていれば成功です。



設定したコマンドのパスなどが間違っていると、以下のようにエラーが通知されてきます。

この場合は、設定に誤りがないか再度確認してください。



起動の成功が確認できれば、結果通知メールを解除しても構いません。

2. CRON 設定時にファイル名を直接指定しなければならない場合

レンタルサーバによっては、前項の方法のように「cd /home/...」といったコマンドを入力することができず、起動するファイル名を直接指定しなければならない場合があります。

(本書執筆時、ロリポップサーバやヘテムルなど)

これに関しては、ご利用のサーバでシェルが利用できる場合は、以下のように対処することができます。

①サーバのシェルのパスを確認します (ロリポップサーバの場合は「/bin/sh」)

②MilkyStep 起動用のシェルスクリプト (ms_jobs.sh) を新規に作成します。ファイルの中身は以下のように記述します。

(ここから)

```
#!/bin/sh
```

```
#↑シェルのパスを指定します
```

```
#↓ドキュメントルート (公開できる最上位のディレクトリ) までの絶対パスを指定します
```

```
userPath='/home/****/public_html'
```

```
#↓ドキュメントルートから MilkyStep ディレクトリまでのパスを指定します
```

```
appPath='/ms'
```

```
cd ${userPath}${appPath}/
```

```
#↓「Perl のパス+半角スペース+./action.cgi」を記載します
```

```
/usr/bin/perl ./action.cgi
```

```
echo "finished"
```

(ここまで)

以下の例では、ドキュメントルートまでの絶対パスを

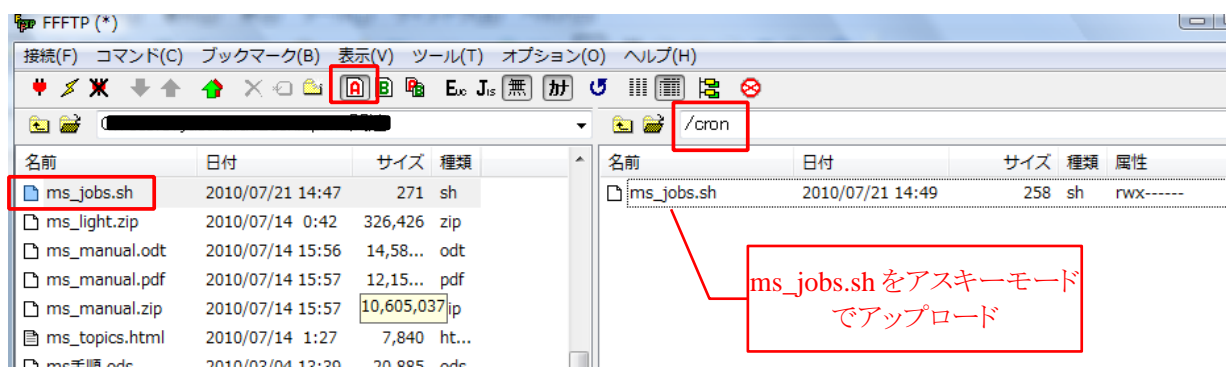
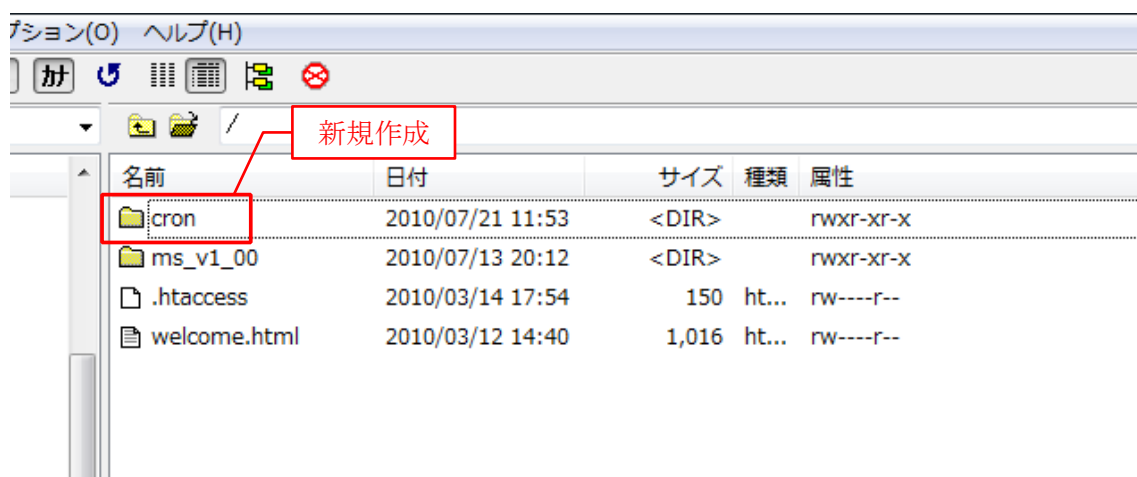
「/home/users/2/lolipop.jp-milkystep/web」、MilkyStep ディレクトリ名を「ms_v1_00」として記述しています。

```

ms_jobs.sh
1 #!/bin/sh
2 #↑シェルのパスを指定します
3
4 #↓ドキュメントルート（公開できる最上位のディレクトリ）までの絶対パスを指定します
5 userPath='/home/users/2/lolipop.jp-milkystep/web'
6
7 #ドキュメントルートからMilkyStepディレクトリまでのパスを指定します
8 appPath='/ms_v1_00'
9
10 cd ${userPath}${appPath}/
11 /usr/bin/perl ./action.cgi
12
13 echo "finished"
14
[EOF]

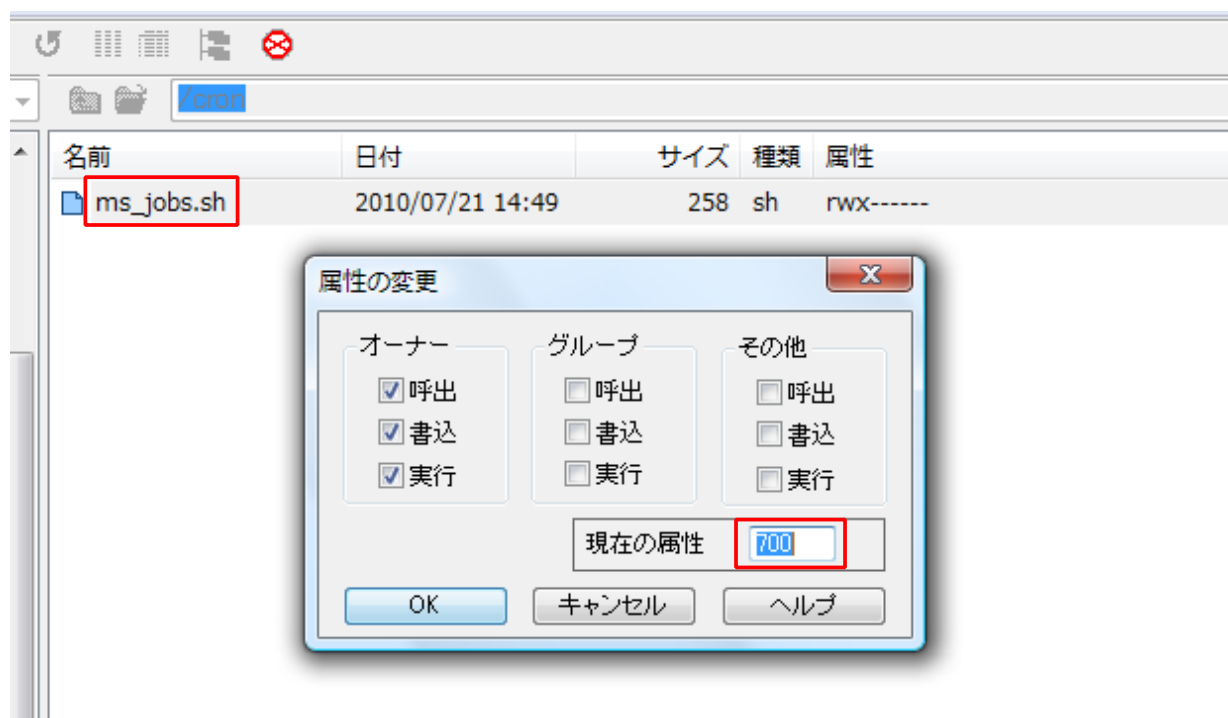
```

- ③FTP でアップロードできる場所に、適当なディレクトリをつくり、その中に先ほどの「ms_jobs.sh」をアスキーモード（テキストモード）でアップロードします。
例ではディレクトリを「cron」としています。



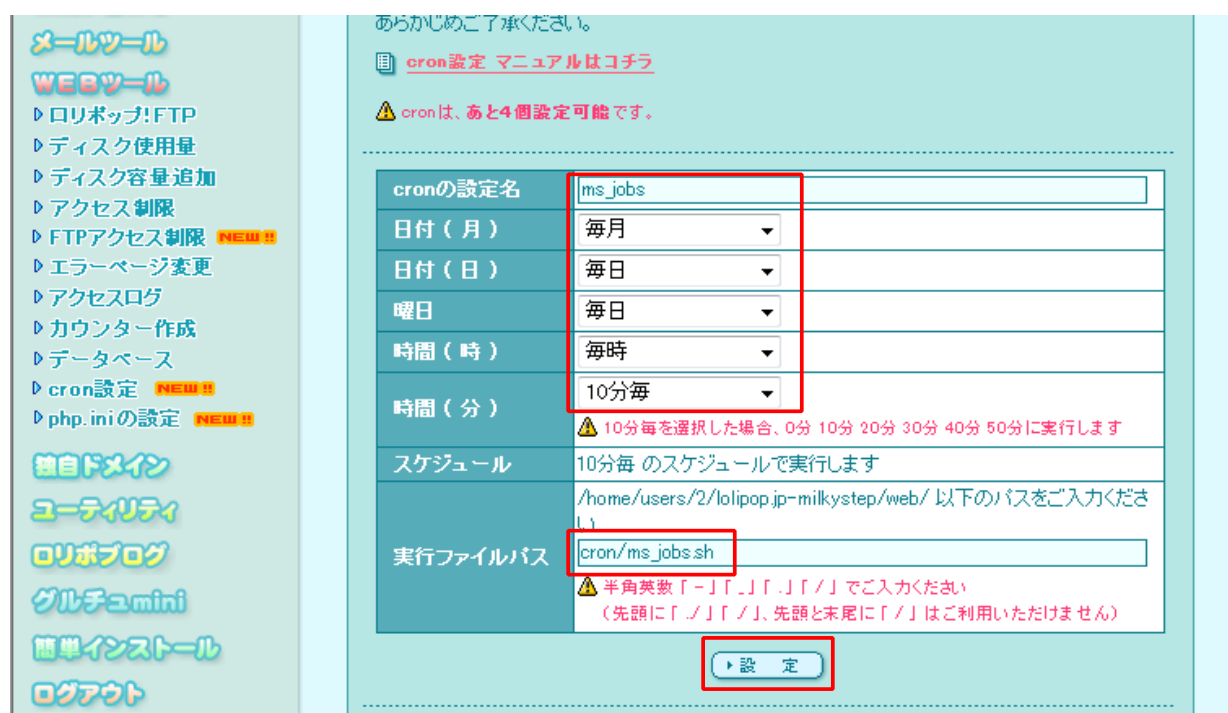
※MilkyStep ディレクトリ内に ms_jobs.sh を置いてしまうと、バージョンアップの時に削除されてしまいますのでご注意ください。

④アップロードした「ms_jobs.sh」を実行できるパーミッション（700や755）に変更します。



⑤レンタルサーバのコントロールパネルから cron 設定に進みます。

⑥起動間隔を10分毎に指定し、実行ファイル名に「作成したディレクトリの絶対パス/ms_jobs.sh」と入力し、設定を確定します。
例ではロリポップサーバのコントロールパネルを用いて説明しています。



3. CRON が利用できない場合の代替法

サーバによっては CRON をサポートしていない場合があります。
この場合は、アクセス数の多いご自分の WEB サイトに起動用の img タグを埋め込むことによって代替が可能です。

この方法は、例えば4月1日の10時に配信予約を設定した場合、タグを埋め込んだ WEB サイトに4月10日10時以降最初にあったアクセスにより MilkyStep が起動されメールが配信されます。

そのため、CRON に比べて配信時刻がばらつく可能性があります。
平均アクセス間隔が短い WEB サイトであれば配信予定時刻との差異が少なくなり、長ければその逆になります。また起動結果通知メールなどは配信されません。

まず、以下のような形で起動用の img タグを作ります。

```
<img src='http から始まる ms ディレクトリのフルパス/action.cgi' height='1px' width='1px' />
```

本書の例でいくと、

```
<img src='http://milkystep.xsrv.jp/ms/action.cgi' height='1px' width='1px' />
```

となります。

そしてこのタグを設置したい WEB サイトソースの<body>と</body>の間に貼り付けます。

※PHP ファイルの場合は「<?php」と「?>」の間は PHP コードですのでその場所には貼り付けないでください。

```
7 <title>タイトルを記入</title>↓
8 <link rel="stylesheet" href="styles-site.css" type="text/css">↓
9 <link rel="stylesheet" href="styles-special.css" type="text/css">↓
10 </head>↓
11 ↓
12 <body>↓
13 ↓
14 <img src='http://milkystep.xsrv.jp/ms/action.cgi' height='1px' width='1px' />↓
15 ↓
16 <div class="bg-image0">↓
17 <div class="bg-image1">↓
18 <div class="bg-image2">↓
19 <div class="container_head"></div>↓
20 <div class="container">↓
21 <div class="container-inner">↓
22 <div class="special-a">↓
23 <table width="860" border="0" cellpadding="0" cellspacing="0">↓
24 <tr>↓
```

貼り付けたファイルを保存して WEB 上に再アップロードすれば完了です。

4. 起動ログの確認

CRON による起動や、img タグによる起動を行った場合、その際の処理内容がログとして保存され、後からコントロールパネルで参照することができます。

詳しくは【共通設定編】第4章内「配信ログの参照」をご覧ください。